

ギャラリー

半沢清次・駒場かずえ 彩り展 3【木工】 10/31(木)~11/5(火) 【手編み・ステンドグラス】 10時~7時 最終日5時

無垢木材を使った小家具や漆で仕上げた一輪挿し、額など「木工漆作品の地味ながらも奥深い色の個性をお楽しみいただければ」と半沢さん。ストール、帽子などの手編みとステンドグラスの灯り、アクセサリなど「特性の全く異なる素材を扱っていますが、色で遊ぶ楽しさをお裾分け出来たら」と駒場さん。

楽風企画

郡司宏遺作展【抽象】

11/7(木)~19(火) 13(水)休 10時~7時 最終日5時

東京都美術館で毎年3月に人人展が開かれる。今年で47回を数える。人人展に何うきっかけは、かつて楽風で発表した作家さんがメンバーのひとりであったこと。もう20年以上の時間が流れた。実は郡司さんとゆっくり話したり、酒を飲んだことも一回もない。郡司さんの作品は“見る”“感じる”自然な気持ちを私に伝えてくださった。作品については全く語らなかつたというが、微笑みと握手がありがたかつた。開かせていただきます。よろしく郡司さん。



浅香和子 11月の楽宇生 革・木と遊ぶ 11/21(木)~26(火) 11時~6時 最終日5時

革の彫刻ともいえるとも言えるレザーカービング。ギャラリー空間は、バッグや小物、板絵などに刻まれたさまざまな動物たちの優しい眼差しに包まれます。「楽風での展覧会も回を重ねてきました。経験したことのない猛暑、そして年々、新作ばかりの展示は難しくもありますが、活力付け皆さん楽しんで頂けたらと思います」

あおやままさひろ展 気持ちの辞書と白い部屋 11/28(木)~12/3(火) 10時~7時 最終日5時

144の気持ちをゴシックという字体にして並べます。気持ちは作品になるのか、実験的な試みです。そしてずっとこういう部屋にしてみたい気持ちを現実に。8年ぶりの個展になります。

風見靖子 絹の衣 12/5(木)~10(火) 11時~6時 最終日5時

コートドレス、スカート、パンツ、ジャケット、ショール…内から放つ深い光沢が魅力の絹の衣。さまざまな機能をもつシルクは保温性にも優れています。寒さの募る季節、裕のジャケットを纏って、優しいあたたかさで穏やかな安心感に包まれながら、華やぐ師走の街へと出かけませんか。

バングラデシュ 平和をつむぐノクシカタ刺繍展 12/13(金)~17(火) 10時~6時 最終日3時

千年以上の歴史をもつノクシカタ刺繍。幸福、愛などを意味する動物、植物をモチーフに、平和への思いを一針一針に込めて手刺繍します。バングラデシュでは今年も大洪水被害が多発し、多くの被災者が出ました。刺繍製作は女性たちの生きる力になっています。フェアトレード・ロシユン オリジナル作品を販売いたします。

楽風企画

安部由悠展 太陽は夜になる【ミクストメディア】

12/19(木)~24(火) 10時~7時 最終日5時

5年前、シルクスクリーンや筒描染、浸染などの伝統技法を用いて、さまざまな蟲たちや自然を現代的に表現した迫力ある染色作品を発表した安部さん。今展示では、染色布を木枠に張った作品とともに、ペン画やアクリル、クレヨンなど、染色以外の技法も混ぜた作品もお目見えします。

蟲や怖いと思ったもの、人の手の及ばないような妖しいものをモチーフに世界観を表現しています。

私の作品を見て何か揺れ動くような気持ちがあれば嬉しいです。

